

技術士 1 次試験に合格して



佐野 太祐

(さの だいすけ)

勤務先

みぞぐち事業 株式会社

環境事業部

〒041-0824 函館市西桔梗町 589 番地 44

TEL 0138-83-8425 FAX 03-5487-6751

E-mail sano_mizoguchi@aroma.ocn.ne.jp

■ 専門：環境部門

1. 自己紹介

私は北海道函館市出身で、8年前に生まれ育った地元が一番だと思い、Uターン転職しました。学生時代はポリ乳酸などの生分解性プラスチックに関する研究をしていました。社会人になって有機溶剤を使用しない水性塗料用の樹脂の開発、函館で水質、大気、土壌に関する環境分析に従事し、現在は有害物質を含む廃棄物、土壌などの無害化、有効利用などの研究開発に取り組んでおります。いずれも環境問題に取り組むことに関係しております。

弊社は、建設、運送、環境事業を主な事業内容としており、多種多様なキャリア、人材が集まる会社です。私は、異業種のノウハウを積極的に取り入れ、事業間のシナジー効果を発揮できるような仕事をして会社のさらなる発展に貢献したいと考えております。

2. 受験に至るまで

技術士については4年前に環境計量士に合格した後、次の目標になんとか考え始めたのがきっかけです。技術士は、理系の国家資格の最難関であることを知り、ひとまず参考書を買ってすぐ閉じた記憶があります。名刺に技術士と記載された人と仕事をすると信頼できた経験があり、憧れるようになりました。

分析会社に勤めていた時は、分析結果が成果であり、評価、考察、今後の方針まで行う業務はあまり経験できませんでした。結果の報告だけでなく、解決策を示し今後の発展に貢献するなど別の成果を出すことでやりがいを感じる場面がありました。そのための第一歩として、技術士を目指すことにしました。

3. 受験体験

受験日の半年前から勉強を開始しました。日本技

術士会のホームページの過去問題を10年分解きました。恥ずかしい話ですが、初見の正答率は5割を下回ってました。正答率を上げるには、まず解答を法令、JIS、インターネットを使って自分で調べました。基礎科目に関しては学生時代の教科書読みながら懐かしさを感じつつ、勉強しました。繰り返し問題を解いていくと何度も間違える問題や、頻出する問題がわかってきますので印をつけてノートにまとめました。この勉強法を繰り返すと少しずつですが、正答率が上がりました。専門科目は、環境部門といっても出題される範囲が幅広いので、自然環境や地球環境問題などのジャンルでは初めて知ることたくさんありました。

受験当日は、問題文をきちんと読むこと、わからない問題は時間をかけずに後回しにすること、選択した問題に間違いがないかを見直しをすることを意識して回答しました。自己採点で合格点以上でしたが、合格発表の日までは落ち着きませんでした。当日に官報を確認し、自分の名前を見つけてようやく安心できました。官報に名前が載ったのもよい記念になりました。

4. 今後に向けて

今年の技術士2次試験を受験します。狭き門であるのは十分わかっています。受験しなければ合格できませんので挑戦することを決意しました。

受験を全面的にバックアップしてもらえる職場環境に感謝しております。これまでの経験、実績を整理し、視野を広げて受験勉強をしてきたいと思えます。

また業務や講演会などを通じて先輩技術士の方々と交流を深めて技術士になれるよう取り組んでいきたいと思えます。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。